



実りのあった保育実習

園児とのふれ合いを振り返る

先月、芽室幼稚園で行われた1年生の保育実習。22日の1年A組に始まり、31日の1年D組までクラスごとに行われた。そこで今回、この実習を振り返って3人に取材した。



10月22日からクラスごとに1年生の保育体験実習が行われた。これは芽室幼稚園に行き、園児達とふれあう総合学習の一環だ。午前中は外や園内での遊びや工作の手伝い、英語の授業などを行った。最初は戸惑っていた芽室生も一緒に活動をしていくうちに慣れ、それが伝わったのか笑顔を見せてくれた園児もいた。午後はグループで事前に考えてきた遊びを披露した。多田有加さん(1B)は「絵本、だるまさんが転んだをやった。また、「園児の目線に合わせて遊んだ」と中村妃梨さん(1C)は遊ぶ際の留意点を話した。「簡単な言葉で優しく話した」と話すのは中山隆斗さん(1D)。そし

7時間授業を実施

【地震による時数確保の補充】

11月19日から27日まで、芽室では初の7時間授業が行われた。これは9月に起こった胆振東部地震で臨時休校となった2日分の授業時数の補充だ。これについて堀田明歩さん(2D)は「テスト

期間なのに、早めに帰宅して自由に教科の勉強ができないことが辛い」と語った。そして多くの生徒が普段利用する4時台の汽車より一両少ない5時台の汽車は、人でいっぱいになってしまった。この補充の代わりに、

冬休みを削るということにはならなかったのか教務部長の西岡秀樹先生に尋ねたところ、「今後、雪害でJRが止まってしまいう恐れがあるため冬休みを削ることはできない」と語った。(相川)

大変喜んでいた子ども達

今回の保育体験について、同幼稚園に勤務する岡田光先生に取材した。この保育体験を振り返り、岡田先生は「子ども達は大人が大好きなので、大変喜んでいました。高校生の方々は、貴重な経験になったと思う」と話した。また、保育士の適性について「子ども達と保護者方から先生と呼ばれる存在。明るく元気で、子

一人にさせないこと。中山さんは「園児達が怪我をしないよう、周りを見て遊んだ」と語り、それぞれに実りある体験となった。(五十嵐)



先生からの挑戦状

日本語で「運動器症候群」という病気は次の3つの内どれでしょうか？

1. Xタボリウ シンドローム
2. スポーツ シンドローム
3. ロコモティブシンドローム

今回は、保健教師の古屋先生からの出題!

※ 答えは次号!



芽室で学ぶ下間隆雄先生

衝撃! 下間バナナラプソディ

下間隆雄先生は、バナナをスプーンで食べているという情報を掴んだ我々。さっそく真相を取材した。「思いつきはバナナが

切れているマジック。傷んでいるバナナをスプーンで食べたことが今でも使っている理由」またスプーンを使っている理由」とは「時々」だと誇らしげに話してくれた。ちなみに、好きな果物は柿と梨だそう。(根元)

編集後記

皆さんテストお疲れ様でした。いよいよ12月になり、本格的な寒さが到来する時期ですね。この時期の肩こりや頭痛などの症状は冷えからくることがあるそうです。そんな時は、ぬるめのお湯で体を芯からあたため、血行を良くすると、疲れや痛みの原因となる物質が代謝されますよ。(小川)

顧問	石森由香利
編集長	森 仁美 (2A)
編集副長	相川 愛実 (2B)
編集	根元 七穂 (2A)
編集	高砂 萌衣 (2B)
編集	鈴木 麻央 (2C)
編集	五十嵐 千歳 (1C)
編集	小川 結衣 (1C)
編集	鶴身 幸一